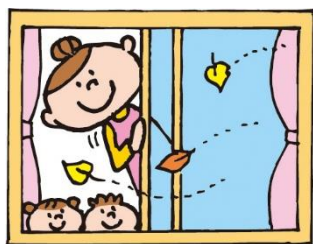




にこにこ



今年も残暑厳しくまだまだ暑い日も多いですが、少しずつ涼しくなって外での活動も過ごしやすい季節がやってきました。ぱんだ組での生活も早半年。子どもたちは見違える程たくましく成長しました♪これからも子どもたちと戸外室内でさまざまな遊びを楽しんでいきたいです。昼夜の気温差が大きい季節でもあるので健康面に十分気を付けていきたいと思っています。



言葉の発達

1、2歳児は言葉を理解し始め、簡単な単語を発するようになる大切な時期です。園では子どもが興味を示しているものに対して、積極的に言葉を掛けるようにしています。例えば、子どもが乗り物に興味があれば「車だね、速いね」といった具体的な言葉で話し掛け言葉と実体験を結びつけることが大切です。子どもが指差しをしたり、何かを求めているときは「あれは〇〇だね、かわいいね。」「〇〇が欲しかったんだね。」のように、子どもの気持ちや行動を言葉で代弁して受け止めるようにしています。子どもが発した言葉に対して、大人が繰り返したり、真似したりすることで、子どもは自分の発言が伝わった喜びを感じ、言葉への関心を高めていきます。そして、話しかける際は、ゆっくりとはっきりと、そして笑顔で語り掛けることを心掛けています。

♪ぱんだ組でよく使っているベビーサイン♪

大人に自分の気持ちを表す機会が増えてきたぱんだ組のお友だち。身振り手振りのジェスチャーを使ってコミュニケーションをとるベビーサインを取り入れながら、意思の疎通を図っています。お家でもぜひやってみて下さい♪

「食べる」



片手の指先を口元に持っていき、指先を動かして何か食べるような仕草で、ご飯の時間を知らせます。このジェスチャーで、給食の時間だと理解します。

「いただきます」みんな大好き給食タイム！両手を合わせて今日も美味しくいただきます♪



「もっともっと」両手の指先を軽く閉じトントンします。



遊びをもっとやりたい！といった時に使う子が多いです。

「もう一回」大人に「もう一回やって」と伝えたい時にしっかりと大人の目を見ながら使います。



「帽子」頭をポンポンと触ります。外に行く時、待ち椅子でやる子が多いです。

